

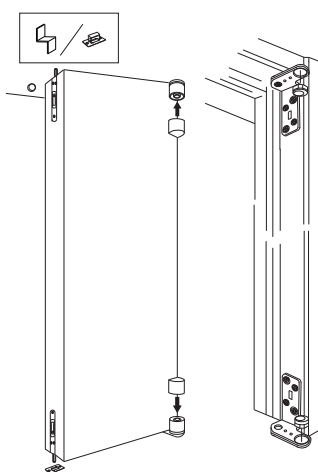














ハートフル 子扉施工用

(スライドドアハンガー／オートスライドドア／オートクローザー)

このたびは、A K 製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。

施工にあたってのご注意

- この施工説明書をよくお読みになり、正しく取付けてください。誤った取付けをしますと、人身事故や家財の損害が発生する恐れがあります。
- 商品に破損や異常がないか、付属品の不足はないかをご確認ください。万一商品に破損や異常があった場合、また付属品の不備があった場合は、販売店または阿部興業株式会社までご連絡ください。
- 照明灯などの熱により、表面化粧が冒される場合があるので、熱源は1 m以上離して作業してください。

扉 梱 包	部 品 梱 包			
<div>子扉</div> 	上下部枠金物	<div>   </div> <div>【上部】 【下部】</div> <div>※右勝手(左勝手は対象形)</div>	上下部八角軸受け	<div>   </div> <div>【上部】 【下部】</div> <div>1 3</div>
	上下部軸ユニット	<div>   </div> <div>【上部】 【下部】</div> <div>※右勝手(左勝手は対象形)</div>	枠金物取付ビス	 <div>(9本 皿タッピング 4×25mm D=7)</div>
	キャップ	 	軸ユニット取付ビス	 <div>(6本 皿タッピング 4×35mm D=7)</div>
	フランス落し 落し受け	 	子扉用戸当りゴム	 <div>※納まりによって形状・大きさが異なります。</div>
			Z 型落し受け	 <div>(オートスライドドア内開き用)</div>

施工終了後の確認

施工が完了しましたら、下記の点について確認してください。

- ◆全ての部品が取り付けられているか、また間違った取付けがされていないか確認してください。
- ◆取付けネジが所定の位置に取り付けられているか確認してください。
- ◆ネジのゆるみや枠のガタつきがないか確認してください。
- ◆扉の開閉がスムーズに行えるか、施工上の不具合がないか再度確認してください。

<お手入れ方法>

- お手入れは、うすめた中性洗剤で汚れを落とし、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。
- シンナーなどの溶剤や強い洗剤を使用しないでください。
- ペンキ・グリース・油・パテなどが付着した場合は、速やかに拭き取ってください。

<使用上のご注意>

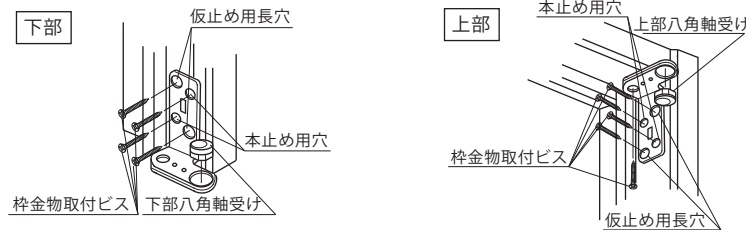
- 扉の近くでストーブなどのご使用はお避けください。(扉が反ったり、表面がゆがんだりする原因になります。)
- 扉や枠の清掃には、シンナーなどの薬品を使わないでください。

取付け順

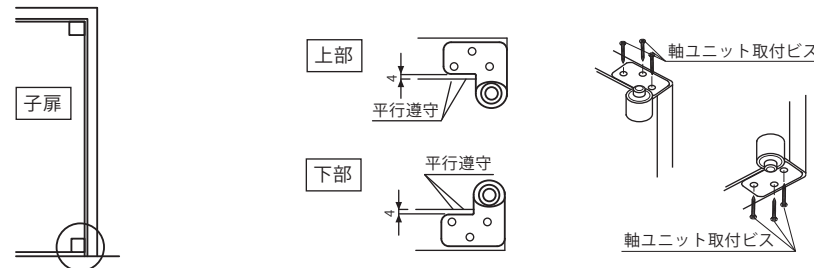
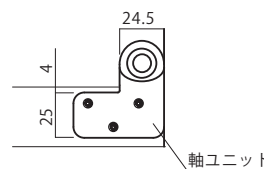
1. 子扉の取付け

《枠金物の取付け》

戸先枠にあらかじめ加工された所定の位置に枠金物を取り付けてください。



《軸ユニットの取付け》

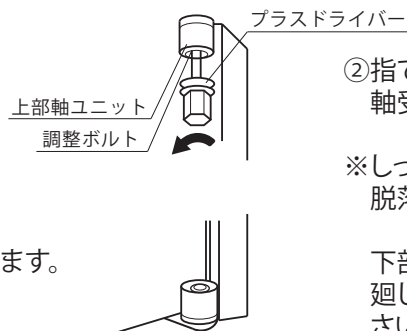


《扉の吊込み》

- ①上部ユニットの調整ボルトをプラスドライバーで緩めます(4mm程度)。

※緩めすぎにご注意ください。

下部軸を軸受け穴にはめこみます。



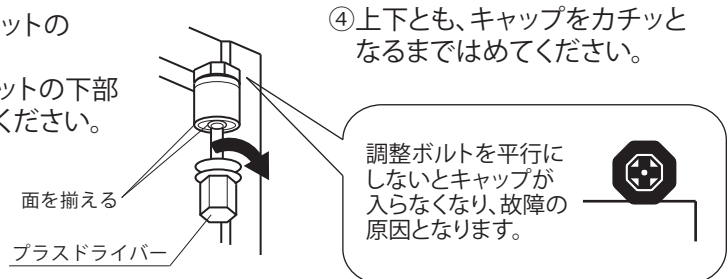
- ②指で軸を押し込みながら、軸を軸受け穴に差し込んでください。

※しっかりとめ込まないと扉の脱落に繋がります。

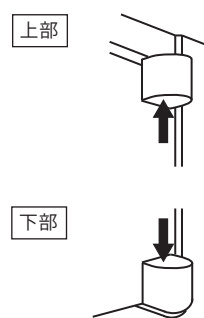
下部側ユニットの調整ボルトを廻し、扉の高さを調整してください。



- ③扉脱落防止のため、上部軸ユニットの調整ボルトを締めます。
図のように調整ボルトと軸ユニットの下部の高さが揃ったところで止めてください。



- ④上下とも、キャップをカチッとなるまではめてください。



《フランス落し・落し受けの取付け》

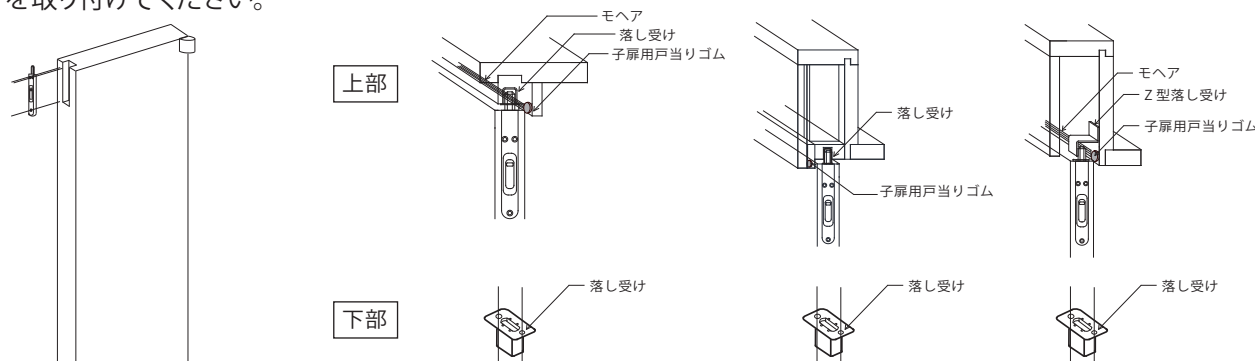
- ①フランス落しを子扉に取り付けてください。
- ②落し受けを取り付けてください。

スライドドアハンガー
オートクローザー

オートスライドドア

外開き

内開き



※子扉用戸当りゴムを取り付けてください。